



特集1

文教人／125,000

～卒業生の数だけ文教人がいる～

特集2

おもいで学舎

～卒業生が語る思い出の学び舎～

02 学園の歴史と沿革／文教大学学園の概要

「あやなり」発行にあたって…渡辺 孝(文教大学学園理事長)

04 特集1 文教人／125,000 ～卒業生の数だけ文教人がいる～

08 らいふ+ぶらす

「体の酸化が病気や老化を進める」…井上 節子(健康栄養学部教授)

「挨拶ではなく、ご挨拶できますか？」…鈴木 茂(附属中学・高等学校教諭)

「正直で誠実なあなたのままで」…土沼雅子(人間科学部教授)

10 特集2 おもいで学舎 ～卒業生が語る思い出の学び舎～

12 文教大学学園 ～校友会の輪～

14 学園NEWS

人を愛する教育がある。

文教大学学園の建学の精神は、“人間愛”です。

幼稚園から大学院まで総ての学校で人間性豊かな人材の育成に努めています。

学校法人 **文教大学学園**

〒142-0064

東京都品川区旗の台 3-2-17

▶文教大学 ▶文教大学大学院 ▶文教大学附属中学校・高等学校 ▶文教大学附属小学校 ▶文教大学附属幼稚園

文教大学学園は1927年創立。首都圏4拠点のキャンパスに在校生約1万人を擁する総合学園です。(平成26年3月時点)

文教大学学園卒業生向け広報誌

文教大学学園を卒業された皆様へ向けての広報誌、「あやなり」を創刊しました。文教大学学園の各校の情報を掲載するほか、卒業生のインタビューや卒業生が思い出の場所を訪ねる企画など、読み物としても楽しんでいただける冊子を編集していきます。「あやなり」が人と人、人と学校をつなぐ場であればと願っています。



文教大学学園の「文」に通じる「あや」。「あや(文=文教)は人なり」という想いをこめて、冊子名を「あやなり」と命名しました。いにしへの時代、「あや・文」は物の面にあらわれたいろいろな形、様々な線が交錯した模様を指す言葉として使われました。「あやなり」も様々な情報を発信し、皆様の目を楽しませる冊子をめざしていきます。

文教大学学園 2014年5月1日現在

文教大学附属幼稚園

開設：1927(昭和2)年 園児数：156名
園長：柳久美子 所在地：旗の台キャンパス
〒142-0064 東京都品川区旗の台3-2-17
TEL：03-3781-2798

文教大学附属中学校・高等学校

[中学校] [高等学校]
開設：1947(昭和22)年 開設：1948(昭和23)年
生徒数：386名 生徒数：728名

校長：星野喜代美

所在地：旗の台キャンパス
〒142-0064 東京都品川区旗の台3-2-17
TEL：03-3783-5511(代)

文教大学附属小学校

開設：1951(昭和26)年 児童数：230名
校長代行：島野歩 所在地：石川台キャンパス
〒145-0065 東京都大田区東雪谷2-3-12
TEL：03-3720-1097

文教大学・大学院

開設：1966(昭和41)年 学長：野島正也
学生数：教育学部1,477名 人間科学部1,813名 文学部1,672名
情報学部1,816名 国際学部1,146名 健康栄養学部416名
経営学部205名 大学院84名、専攻科教育専攻科6名
外国人留学生別科13名 [大学・大学院合計8,648名]

所在地：[越谷キャンパス]
〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島3337
TEL：048-974-8811(代)
[湘南キャンパス]
〒253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷1100
TEL：0467-53-2111(代)

『あやなり』発行にあたって

文教大学学園は、来る2017(平成29)年、創立90周年を迎えます。学園は、今や大学(2キャンパス、7学部)、附属中等学校、小学校、幼稚園等からなる学生総数約1万人の総合学園となりました。この間、卒業生は累計約12万人に達し、教育界を始め各界で幅広く活躍して頂いております。学園の発展はこうした卒業生や現役時代にその指導に当たられた教職員の方々のお陰であり、改めて厚く御礼を申し上げます。

さて学園はこの度、卒業生の皆様方向けの広報誌として「あやなり」を創刊致しました。今後この広報誌を通じて皆様方の近況や、学園・大学・附属校・同窓会等の活動状況等をお伝えしていく予定です。こうした活動が相互の連携・親睦強化の一助となればと思っております。

私どもはこの栄えある学園を更に発展させ、未来にしっかりと引き継いでいきたいと思っております。今後とも一層のご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



文教大学学園 理事長
渡辺 孝

学園の歴史と沿革

1927(昭和 2)年 立正幼稚園 立正裁縫女学校開設
1928(昭和 3)年 財団法人 立正学園設立 立正女子職業学校開設
1929(昭和 4)年 [校名変更]立正学園女学校
(旧称：立正女子職業学校)
1932(昭和 7)年 立正学園実科女学校 立正学園高等女学校開設
[校名変更]立正学園高等家政女学校
(旧称：立正学園女学校)
1935(昭和10)年 青年学校令実施により立正学園実科女学校廃止
1942(昭和17)年 立正女子高等学院開設
1946(昭和21)年 [校名変更]立正学園石川台高等女学校
(旧称：立正学園高等家政女学校)
1947(昭和22)年 立正学園中学校・立正学園石川台中学校開設
1948(昭和23)年 立正学園第二中学校開設
立正学園女子高等学校・
立正学園石川台女子高等学校開設
1951(昭和26)年 [法人名変更]学校法人 立正学園
(旧称：財団法人 立正学園)
立正学園小学校・立正学園玉川小学校開設
1952(昭和27)年 [校名変更]立正学園溝の口中学校
(旧称：立正学園第二中学校)
立正学園溝の口小学校
(旧称：立正学園玉川小学校)

1953(昭和28)年 立正学園女子短期大学開設
立正学園溝の口幼稚園開設
1955(昭和30)年 [校名変更]
立正学園石川台小学校
(旧称：立正学園小学校)
1966(昭和41)年 埼玉県越谷市に立正女子大学家政学部開設
1967(昭和42)年 立正学園石川台女子高等学校・同中学校
溝の口中学校廃校
1968(昭和43)年 [校名変更]
立正女子大学短期大学部
(旧称：立正学園女子短期大学)
1969(昭和44)年 立正女子大学教育学部開設
[校名変更]
立正女子大学教育学部附属立正学園中学校
(旧称：立正学園中学校)
立正女子大学教育学部附属石川台小学校
(旧称：立正学園石川台小学校)
立正女子大学教育学部附属溝の口小学校
(旧称：立正学園溝の口小学校)
1970(昭和45)年 立正女子大学附属幼稚園開設
1976(昭和51)年 立正女子大学人間科学部開設

[校名変更]
文教大学(旧称：立正女子大学)
文教大学女子短期大学部
(旧称：立正女子大学短期大学部)
文教大学附属中学校
(旧称：立正女子大学教育学部附属立正学園中学校)
文教大学附属小学校
(旧称：立正女子大学教育学部附属溝の口小学校)
文教大学附属立正小学校
(旧称：立正女子大学教育学部附属石川台小学校)
文教大学附属幼稚園
(旧称：立正女子大学附属幼稚園)
文教大学附属幼稚園
(旧称：立正女子大学附属幼稚園)
文教大学附属幼稚園
(旧称：立正学園溝の口幼稚園)
1977(昭和52)年 [校名変更]文教大学附属高等学校
(旧称：立正学園女子高等学校)
文教大学男女共学化
1980(昭和55)年 文教大学情報学部開設
1983(昭和58)年 [法人名変更]学校法人 文教大学学園
(旧称：学校法人 立正学園)
1985(昭和60)年 文教大学情報学部・文教大学女子短期大学部を
神奈川県茅ヶ崎市へ移転 湘南校舎として開校

文教大学経営情報専門学校開設
文教大学附属小学校廃校
文教大学附属溝の口幼稚園廃園
[校名変更]文教大学附属小学校
(旧称：文教大学附属立正小学校)
1986(昭和61)年 文教大学附属幼稚園廃園
1987(昭和62)年 文教大学文学部開設
1990(平成 2)年 文教大学国際学部開設
1992(平成 4)年 文教大学専攻科開設
[校名変更]文教大学学園幼稚園
(旧称：立正幼稚園)
1993(平成 5)年 文教大学外国人留学生別科開設
文教大学大学院開設
1998(平成10)年 文教大学経営情報専門学校廃校
文教大学附属高等学校・
文教大学附属中学校を男女共学化
2005(平成17)年 [校名変更]文教大学附属幼稚園
(旧称：文教大学学園幼稚園)
2010(平成22)年 文教大学健康栄養学部開設
2012(平成24)年 文教大学女子短期大学部閉学
2014(平成26)年 文教大学経営学部開設

【特集1】

文教人

125,000

卒業生の
数だけ
文教人が
いる!

幼稚園から大学院までを擁する文教大学学園。文教大学学園で育った卒業生は全国に12万人を越え、様々なジャンルに活動の場を切り開き活躍しています。そんな「文教人」を追って、インタビューを行うこのコーナー。今回は東日本大震災で被災された卒業生や福祉からイラストの世界へと転身をはかった卒業生など、5名の方にお話をうかがいました。

福祉の仕事からイラストレーターに 子どもに喜ばれる元気な絵を描き続けたい

石垣 和博さん

いしがき・かずひろ
文教大学人間科学部人間科学科
1993年卒業
イラストレーター

カズゴン kazugonのペンネームでイラストレーターとして活躍する石垣和博さん。現在は児童書などのイラストを手掛けるほか、各種パズル雑誌でのイラストパズルの制作、「まちがい探し」の著作も持つ。明るく楽しいキャラクターを得意とし、そのタッチは福祉の仕事から培われたものだ。そう、石垣さんは文教大学人間科学部を卒業し、知的発達障がい児施設での勤務経験を持つ元福祉人なのだ。

「仕事で絵を描く機会が多く、それがきっかけとなって、通信講座や夜間のイラストレーター養成学校で学ぶようになったんです。絵を描くことは子どもの頃から好きで、美術の成績もよかったです。そこで驚いたのは周りの人たちのレベルの高さ。これは基礎から勉強し直さなければ福祉の仕事から離れ、それからは本気でイラストレーターをめざすことになりました」

コンピュータ・グラフィックスは独学でスキルを磨き、少しずつ自信をつけ始めた頃、作品集を持って出版社をまわる営業活動も始めた。福祉の仕事がチームワークなら、イラストの仕事は個人事業。仕事は自分で開拓していかなければならない。

「夢中でやってきて気づいたら13年。日々、締め切りとの闘いですね(笑)。先のことはわかりませんが、これからも子どもに喜ばれる絵を描き続けていきたいです。そして障がいをもった子どもたちも楽しめる絵本をいつか出版したいですね」



今号の表紙
イラストは
石垣さん作!



まちがい探しベストセクション、まちがい探しプラチナセクション (日本文芸社)

私の学生時代

ボランティアサークルに入っていて、1~2年次はサークル棟に入り浸っていました。サークルでは手話を学んだり、障がい児施設でお手伝いをしたり。ケースワーカーの仕事を目指して文教大学に進学したのですが、サークル活動を通じて現場が断然おもしろいことを知り、それからは福祉施設をまわり様々な症例の子どもたちと接しました。早くやりたい仕事に就きたいという気持ちの強かった、4年間でした。

文教育ちの「文教っ子」。 現在は指導する側として後輩たちを育てる

川崎 光美さん

かわさき・てるみ
文教大学付属中学・高等学校 1990年卒業
文教大学付属幼稚園水泳クラブ主任コーチ、
文教大学付属中学・高等学校体操部顧問



「幼稚園の担任だった先生が、いまは一緒に働く先輩なんですよ」「文教っ子」と自らを認める川崎光美さん。自認するだけ文教との縁は深く、幼稚園から高等学校までの15年間を文教大学の付属校で過ごし、大学は日本体育大学に進学。卒業後は母校にもどり付属中学・高等学校の保健体育科の非常勤講師を13年間勤め、現在も中学・高等学校の体操部顧問、幼稚園の水泳クラブ主任コーチ、同じく幼稚園のスポーツクラブの補助、同窓会「三蓉会」事務局の手伝いと、ほぼ毎日旗の台キャンパスに足を運ぶ。通学が通勤に変わり、約20年の歳月が経った。「その間に結婚、出産を経験し、いまは4人の男の子の母親です。子育てを経験して変わったのは、教え子たちはみんな自分の子どものように思い、保護者の方々の思いにも気を配り、大事な宝を預かっているという気持ちが一層強くなりました。ですからケガについても、細心の注意をはらいます。自分の子どもがケガをして帰って来ても

何とも思わないのですが(笑)水泳クラブの様子を見学させていただいた。主任コーチとして指導員に指示を出し、子どもたちには大きな声で声をかける。「この水泳クラブでは幼稚園のお友だちと仲良く、無理なく、水に親しむことや公共の場での着替え方・体の拭き方・片づけなどをひとりですることができることを目的に教えています」



私の学生時代

体操部に所属し、クラブのために通学していたような6年間でした。朝練があって、5分でお弁当を食べて屋練。そして放課後の練習。厳しさはありましたが、充実したクラブ活動でした。高校の時には都大会に出場し、個人総合戦で1位になったこともありました。好きな競技種目は平均台、幅10センチの台の上でよく演技したなあと思います。当時から体が大きくて体重が落ちず、筋肉をつけなさいと先生にいわれていました。

6年間を石川台の地で過ごした仲間は いまでも一緒に旅する仲間

片柳 匡司さん

かたやなぎ・ただし
文教大学付属小学校 1971年卒業
歯科医

カラフルなデンタルユニットが並ぶ診察室。そのなかでサムライブルーの旗が目についた。「2002年ワールドカップでは日本の初戦を埼玉スタジアムに観に行き言葉にできないほど感動しました。90歳まで生きて、もう一度埼玉スタジアムでワールドカップ日本戦を観る。それが僕の目標です」と、笑って胸を張る片柳匡司さん。3年間の勤務医を経て、昭和60年川口にデンタルクリニックを開業した。小学校の歯科検診では子どもたちをリラックスさせるため、日本代表のユニフォームを来て診察するという。患者に寄り添う姿勢を大切にしていることがうかがえる。「治療が一番大事なのは、患者さんとよく話し合うことです。例えば矯正治療では、ドクターはマニアックな完璧さを求めます。しかし患者さんはそこまで求めていないことが多い。提案をした上でしっかり話し合い、ドクターの感覚を押し付けることなく、患者さんの満足度をアップできるように進めていきます」歯科医をめざしたのは、窮屈な会社勤めをしなくなかったことと、14歳年上の叔父の影響。歳の近い叔父は歯科医で、高校時代の片柳さんの憧れだった。「映画監督という夢もあったんですよ。6年生の学芸会では、僕が監督・脚本して劇をやりました。当時の文教大学付属小学校は1学年1クラスで、6年間ずっと一緒。同級生とは今でもつながっています。数年前に小淵沢に越して農業をやっている同級生がいて、年に1回はみんなでそこに押しかけます」



私の学生時代

僕は小学校の頃から変わっていませんね。冗談を言って、クラスのみんなを笑わせるのが好きでした。中学1年の夏休み、小学校の同級生たちと旅行の計画を立てたんです。清里高原に文野の八ヶ岳があったので、そこに泊まることにしたのですが、4~6年生の時の担任だった坂野先生と一緒に来てくれました。僕たちのことが心配だったんでしょうね(笑)。よい思い出です。



125,000

in 東北



岩手県大船渡市
宮城県名取市

海が見える場所でまた仕事を…。
被災後7カ月で食堂を再開し
ご飯をつくる



清水 敏江さん

しみず・としえ
文教大学女子短期大学部 英語英文科
1981年卒業
丸清食堂経営

岩手県でも有数の水揚げ量を誇る大船渡魚市場。建設中に東日本大震災で被災した新しい魚市場は今年4月に完成し、入港した船から魚が水揚げされる様子には復興の力強さを感じる。

この魚市場の目の前で、母親とともに食堂を切り盛りする清水敏江さん。「あれはタラの水揚げ船ですね。船を見れば、乗っている人の顔まですべてわかりますよ」と教えてくれた。食堂兼自宅のあるこの地で育ち、生まれた時から海と漁師さんたちを見てきたと笑う。店は漁にあわせて朝7時には開け、14時過ぎに暖簾をしまう。2011年3月11日も、そんな普段と変わらない一日のはずだった。

「市場の人たちに海の水が引いているからすぐに逃げろと言われて、高台に車で移動しました。車の中から津波がくるのを見ていましたが、店の屋根は残っていたのですぐに帰れると思っていたんですね」避難所で一夜を明かし、翌日戻ってみれば、店のなかは泥水でかき回したような状態。畳や冷蔵庫は天井にあがっていた。誰もが大船渡の水産業を絶望視するなかで、市場が5月に再開。そして10月、丸清も新しい暖簾をかけた。「店を再開できるとは思っていませんでしたが、市場が復活し、漁師さんたちのがんばっている姿を見て、海が見える場所でまた仕事をしたいなと。家庭でご飯を食べるような気軽さで使ってもらえるのがこの店の良さ。新しいことは何もできませんが、こういう店があってもいいですよ」

海が怖くはないですか？と聞くと、「こうして仕事ができるのは海のおかげ、感謝しています」という言葉がかえってきた。

私の学生時代

キャンパスは旗の台にあり、雪谷大塚にあったアパートに、同じく文教に通う姉と一緒に住んでいました。テニス同好会の夏合宿で軽井沢に行ったり、文化祭の企画で歌手の松崎しげるさんと呼んだりの覚えています。同級生とは、結婚式で会って以降は年賀状のやりとりだけだったのですが、被災したのを知ると連絡をくれました。「必要なものない？」と物資を送ってくれ、夏にはお見舞いにも来てくれました。嬉しかったですね。



震災後2011年10月に再開した丸清食堂。



新設の魚市場には2~3時間に一般、水揚げ船が帰港する。



常連客と談笑する清水さん。



お手製の教材で雑巾絞りやリボン結びなどの正しいやり方を指導。



子どもにもひと目で1日の予定が理解できるように工夫している。

みんなが汗を流して遊ぶ、併設のプレイルーム。

谷地 ミヨ子さん

やち・みよこ
文教大学教育学部 初等教育課程国語専修
1981年卒業
一般社団法人S・空間(エス・スペース)代表



子どもたちのことを考えたら
あきらめられない。原発事故を
乗り越え、今日も子どもを迎える

現在宮城県名取市で、発達障害の子どもたちを支援する「S・空間」を運営する谷地ミヨ子さん。ここで学習、運動、食事などのソーシャルスキルといった生活全般について指導する。もともとは福島県南相馬市で活動していたが、東日本大震災で被災し、拠点を宮城県に移した。「地震による被害はほとんどなかったのですが、原発の事故等で99%の子どもたちが避難。南相馬では運営ができなくなり、ここに移ってきました」S・空間のプレイルームにはブランコやマット、クライミング用の壁などが設置され、ここで子どもたちは体を動かし、汗をかき、避難所などへ帰っていく。体が柔らかくなると、心も柔らかくなる。障害により他人とコミュニケーションを取るのが苦手な子どもも、心がほぐれば人と良好な関係を築きやすいと谷地さんは言う。

「実は私自身が発達障害自閉スペクトラム症の当事者です。小学生の頃から、周りの人が普通にできることをできないことに悩み、自分には存在価値がない、死にたいと思ってきました。文教大学に進学し、そこで知ったのが知的障害などの障害です。障害を知ることで、自分が人と違うのは障害のひとつなのかもしれないと思われ救われるような気がしました」そして教員などの経験を通して、発達障害の子どもたちは、上手に指導すれば明らかに変わっていくことを知る。「原発事故で活動拠点を奪われ、しかし避難賠償はわずかしか支払われず、再開は無理だと思うこともありましたが、でも子どもたちのことを考えたらあきらめられなかった…」

自分のように苦しむ子どもが減り、生きていることが幸せと思える子どもたちを育てたい。それが谷地さんの原動力である。

私の学生時代

ピアノ棟に入り浸っていました。大学のすぐ近くにアパートを借りていて、便利なものですから部屋が同級生のたまり場になっていました。自閉症の症状もあって人が苦手、たくさん人があると状況を判断できなくなる。それが家に帰ると10人近い人がいるでしょ。家に帰りたい時に、ピアノ棟へ逃げこんでいたんです。そのうちの1人だった方には、福島を避難する時に家を提供していただき、大変お世話になりました。

らいふ ぷらす

現在、文教大学学園にて教鞭をとる
3名の先生にご登場いただき、
それぞれの専門分野について、
私たちの暮らしに役立つ知識や
考え方をご教授いただく
コーナーです。



鈴木 茂
すずき・しげる

附属中学・
高等学校 教諭

柔道六段。現在も段位取得のため、全国大会に出場している。現役時代は「内股・大外刈り」を得意技としていた。今では「口車?・微笑み返し?」を得意技とし、相手を戦意喪失させ、嘉納治五郎先生の教えである、自他共栄を実践している。

02

Physical
身体

挨拶ではなく、 ご挨拶できますか?

01

Health
健康

体の酸化が 病気や老化を 進める



体の中で起こる酸化は病気や老化につながると言われており、紫外線、ストレス、運動、喫煙等により酸化が促進されます。

酸化を抑制するために、抗酸化成分を多く含む野菜や果物を食べる事が大切です。抗酸化成分も食べ合わせによってその効果が異なります。日ごろから、好き嫌いをなく、バランス良く食べていれば問題はありませんが、酸化されやすい脂肪を多く含む外食や手間をかけない食事には、あえて抗酸化成分が含まれている食品を心がけて食べる事が大切です。

私のゼミでは抗酸化、低カロリー、低アレルギーに注目したマドレーヌを作っています。抗酸化成分も多く含み、低アレルギー化の働きが報告されている玄米や抹茶を使い、油や甘味は極力控え、アレルギーの原因になる卵、牛乳、小麦粉等を使わない、美味しいマドレーヌが作れることを実証しています。

20年前



現在



井上 節子

いのうえ・せつこ

文教大学健康栄養学部 教授

健康栄養学部の生化学研究室で抗酸化物質の作用機構について研究しています。私の20年前と最近の写真を見比べていただき、酸化されるとは何かを考えてみてください。

03

Psychology
心理学

正直で誠実な あなたのままで

私のゼミでは毎年12人ほどの学生が浜松にあるホスピスのボランティアに2週間泊り込みで行きます。もう30年近く続けてきました。おかげで病院の方にも文教生はとても評判がよく、学生も多くのことを学んで、成長して帰ってきます。そのホスピスは癌にかかって余命2か月と言われた方が、残された時間をその人らしく送れるようにお手伝いする場所です。患者様はいろいろな話をしてくださるのですが、あまりに深い話に対して、学生はどうお答えしていいのか悩みます。そんな時、私は学生に「ただそこに、患者様とともにいる存在でいなさい」「正直で誠実なあなたのままでいることこそ大事です」と伝えています。気の利いた返事をする必要はないと知って、学生はホッとすると言います。

ただ純粋な存在として、そこにいることはとても難しいと感じられるかもしれません。でも私たちは「ただそこにいるだけの存在」で十分だということを心にとめてみてください。



土沼 雅子

どぬま・まさこ

文教大学
人間科学部 教授

専門は臨床心理学、人間性心理学、授業は人間性心理学のほかにグループ・アプローチ、芸術療法など。大学以外では心の相談室を開設している。最終講義は2015年1月24日。

1953~1985年

文教大学付属 溝の口幼稚園

旧立正学園溝の口幼稚園

園庭にロケットの形をしたカゴの先にすべり台がついている遊具があって、それがとっても好きでよく遊びました。お正月は獅子舞、節分の豆まき、ひな祭りなど、季節ごとの行事が多かったと記憶しています。なかでもよく覚えているのは、夏の地引き網。網をみんなで引っ張ると中に魚がかかっていて、魚がはねるのを見て感動しました。いまはタンゴというダンスの世界で生きていますが、運動会は苦手でしたね(笑)。



山尾 洋史さん
やまお・ひろし

1976(昭和51)年度卒園・24回生。タンゴダンサー。2009年アルゼンチンにおける世界大会サロンの部において、外国人初の優勝。

開校当時の校舎。その後、1972(昭和47)年に新校舎へと建て替えられた。



鈴木 通温さん
すずき・みちはる

1979(昭和54)年度卒業。大原簿記学校講師を経て、現在学研CAIスクール溝の口駅前校塾長。



跡地は現在、川崎市立高津図書館として多くの市民に利用されている。

開校当時の短期大学の校舎。モダンな四階建ての棟が学校のシンボルだった。



楠本 八重子さん
くすもと・やえこ

1956(昭和32)年立正学園女子短期大学家政科卒業・二回生。学校栄養士として10年間勤務、学校給食の発展に貢献の後、念願の教職の道へ。学級担任から校長までを歴任。

1953~2012年

文教大学女子短期大学部

旧立正学園女子短期大学

小中学校に居候する感じで建てられたばかりの校舎は、今思えば随分と粗削りでしたが、戦後復興期のことですから不満はありません。当時、栄養士と教員の資格取得が可能で、いずれにも挑戦。忙しい毎日でしたが、級友と自主的に小論文を書いたり、卒業旅行をオーダーメイドしたり。学生の声に耳を傾けてくださる先生方に恵まれ、自由に過ごしました。短大で得た資格をフル回転させて歩んだ人生は、実り多きものと実感しています。



短大の友人たちとの潮干狩り遠足(左から5人目が楠本さん)。



〔特集2〕

おもいで学舎

卒業生が語る
思い出の学舎

もう今はない懐かしい学び舎。けれどその地に立って耳をすませば聞こえてくる、先生の声、友たちの歓声…。すでに廃校になってしまった学校の跡地を訪ね、卒業生に当時のお話をうかがいます。



開園当時の園舎と広い園庭。ここから多くの園児が巣立っていった。



1970~1986年

文教大学 付属幼稚園

旧立正女子大学付属幼稚園

幼稚園のアルバムは今でもときどき開きます。自分で描いた絵が表紙になっていて、私は大好きだった「おもちゃつき」を描きました。幼稚園ではとにかくよく遊びました。園庭の川でザリガニを釣ったり、土手でもぎを摘んででもぎ餅を作ったり。畑があって、そこで収穫した野菜でみそ汁を作ったこともありました。そうして、自分が体験したこのような活動や遊びを今の子どもたちにも伝えたいと思い、幼児教育の道に進みました。



阿部 香寿美さん
あべ・かすみ(旧姓:林)

1985(昭和60)年度卒園。母親と同じ保育の道へ。現在、幼稚園で非常勤として勤務。



岡田 紀子さん
おかだ・のりこ(旧姓:北村)

1976(昭和51)年度卒園。文教大学附属幼稚園同窓会「文教森の会」の立ち上げメンバー。

とにかく自由で、何かをやらされたという記憶がありません。自分たちで考え、それを「やった」という達成感を味わっていましたが、そのように指導して下さっていたんですね。そして、遊びを通して生きる力をつける。そうした考え方が行き渡っていた幼稚園でした。お弁当の作り方や日常生活での注意点など、先生による育児指導もあったと母から聞いています。今あったら、自分の子どもを入れたい!すごい幼稚園でした。



記念碑は南荻島五社稲荷神社の参道に面して立つ。木々に囲まれ、やさしい風が吹き抜けるこの場所は当時の雰囲気をそのままに残している。

1985~1998年

文教大学 経営情報専門学校

秘書のクラスではスーツを着て授業を受けるなど、就職を想定した実践的な学びがあり、クラスメイトたちの目的意識もはっきりしていて刺激を受けました。一方でアットホームな雰囲気、英語の先生が授業に来日中のお母さんを連れて来て、日本の印象などをうかがったのをよく覚えています。自分を高めていけば、自然と周りには素敵な人たちが集まってくる。そうおっしゃった恩師の言葉は今でも忘れられません。



正門と校舎は今も現役で付属中高の施設として使用されている。

山内 千恵子さん
やまうち・ちえこ(旧姓:川島)

1993年3月卒業。ニュージーランドでの職務経験などを経て、現在は英語教室勤務。



文教大学藍蓼会

人間愛の教育がつなぐ卒業生の絆

藍蓼会は、1973年(昭和48年)に文教大学の前身である立正女子大学の卒業生によって結成されました。現在では3万6千人を超える構成員となり、全国に支部を広めつつあります。藍蓼の名称は、埼玉県越谷市に大学が誕生した頃、この土地に群生していたことに由来します。母校、文教大学の建学の精神である「人間愛の教育」のもとに、その絆でつながっている同窓生たちが大学の充実と発展を願い、社会で様々な活動をし、交流をしています。

会員数：36,000名

活動内容：①総会・県支部代表者研修会 ②卒業生データの管理と整備 ③会報の発行
④各支部主催の研修・会合 ⑤県支部・クラス会・OB・OG会・講習会への援助
⑥「大学をご退職なさる教職員を囲む会」の開催
⑦在学生への援助(学生活動・学生生活への資金的援助) ⑧ホームカミングデーの開催

問合せ先：〒343-8511 埼玉県越谷市南萩島3337(文教大学内)
Tel：048-974-8811(内線1060) Fax：048-974-6644
E-mail：aitade@www.bunkyo.ac.jp URL：http://www.bunkyo.ac.jp/etc/aitade/



文教大学女子短期大学部 芙蓉会

絆そして輝いて

芙蓉会は旗の台校舎と湘南校舎の卒業生を会員にもち、およそ60年の歴史があります。会員は日本全国さらに海外でも活躍しています。旗の台校舎の頃は学寮生活の中で学科を越えた絆が生まれ、それはとても深く強いものがあります。さらに湘南校舎で平成7年から開催しているホームカミングデーによって、会員相互の絆が広く深く広がっています。また会報「芙蓉」は、私たちが学園との大切な心のかけはしになっており、聳塔祭では「喫茶芙蓉」を出店して在校生や地域の方々とのふれあいの輪も広がっております。

会員数：30,157名

活動内容：①定期総会開催 ②名簿管理 ③会報「芙蓉」年1回発行 ④ホームページ管理・更新
⑤聳塔祭参加 ⑥常任幹事会・役員会・行事準備会議・会報編集会議

問合せ先：神奈川県茅ヶ崎市行谷1100 Tel・Fax：0467-52-4075
E-mail：fuyou@www.bunkyo.ac.jp URL：http://www.bunkyo.ac.jp/etc/fuyou/



文教森の会 旧文教大学附属幼稚園(越谷)同窓会

三世代が楽しめる同窓会

文教森の会は、平成25年11月3日に発足。この会は、卒園生とその保護者、元教諭たちが、各々の夢を抱いて集い、仕事・子育て・人生等について語り合っています。現代社会のニーズに合わせた活動を生み出し、全会員による主体的な運営を目指して歩み始めました。

会員数：51名

活動内容：第1回目は平成25年11月3日開催。
・総会、立ち上げの趣旨・会則確認。
・「一日幼稚園」と称し、懐かしの手作りの遊びと大福づくり。
第2回目は平成26年11月2日開催予定(場所：文教大学越谷図書館)
・総会、活動報告・25年度会計報告他
・幼稚園時代に経験した工作
・元教諭らと幼稚園時代の思い出を語らう
・3世代の参加者で劇を楽しむ

問合せ先：〒142-0064 東京都品川区旗の台3-2-17
文教大学附属中学・高等学校 林文子
Tel：03-3783-5511
E-mail：hayashi@hatanodai.bunkyo.ac.jp



文教大学学園の輪～校友会

「文教大学学園校友会」は各校校友団体の連合体です。校友同士の輪(和)の形成を目指しています。藍蓼会から父

母教までの特別校友団体に、昨年設立され加盟した文教森の会を加えた8団体を紹介します。



文教大学経営情報専門学校 翔華会

只今充電中

13年間の短い歴史を持って1998年3月に経営情報専門学校は閉校しました。同時に記念誌「翔」を発行しこの会の活動は休止しています。卒業生は仕事にプライベートに忙しい世代です。時間に余裕ができ、再び「翔」ける日まで充電中です。

会員数：2,842名

活動内容：現在は活動していません。

問合せ先：荒尾明代 E-mail：arao@stf.bunkyo.ac.jp

文教大学父母と教職員の会

父母教は保護者と大学をつなぐ情報交換の場

本会は、今年創立38年目を迎えます。保護者と教職員が緊密に連絡・協力することによって、文教大学に対する理解を深め、その発展・向上に寄与することを目的とした会です。また、学生の諸活動や生活及び就職対策、各種有料講座の費用の援助、100円朝食への共催など様々な支援をしています。

会員数：8,528人(正会員・在校生)、366人(教職員会員)、100人(賛助会員)

活動内容：「父母のための一日大学」「進路問題研修会」等の開催。全国46ヶ所にある支部の総会及び研修会の開催、年3回の会報の発行等

問合せ先：越谷事務局：埼玉県越谷市南萩島3337 Tel：048-974-8811
湘南事務局：神奈川県茅ヶ崎市行谷1100 Tel：0467-53-2111
E-mail：fubokyo@stf.bunkyo.ac.jp URL：http://www.bunkyo.ac.jp/etc/fubokyo



文教大学附属高等学校 三蓉会

三蓉会に歴史あり

三蓉会は文教大学附属高等学校卒業生の会です。昭和12年に第一回生としてご卒業された海野重子先生をはじめ今年3月に卒業した会員を含め、約22,000人を有する大組織です。三蓉会では、卒業生、附属中高及び学園に寄与することを目的に、皆さまからの入会金や協賛金を大切にお預かりしながら公明正大に運営しています。

会員数：22,688名

活動内容：附属高等学校(中学校)への支援、学園への寄附、会報発行、同窓会開催 他

問合せ先：142-0064 東京都品川区旗の台3-2-17
Tel・Fax：03-3784-0524 E-mail：sanyokai@hatanodai.bunkyo.ac.jp



文教大学附属(溝の口)小学校校友会

校舎はなくても どっこい頑張っている

昭和26(1951)年に開校した「立正学園溝の口小学校」は、「立正女子大学教育学部附属溝の口小学校」、「文教大学附属小学校」と校名を変更後、昭和60(1985)年に閉校となりました。しかし、地元卒業生は、いまもしっかりその絆を温めています。

会員数：547人

活動内容：校友会総会(隔年)、HPによる情報の提供と収集、クラス会開催の援助、高津区民祭にブース開設ほか

問合せ先：(副会長4回生)富永順次郎 Tel：042-377-7717
E-mail：tomi-jun@cream.plala.or.jp URL：http://www.yannet.biz/bunkyo-koyukai/



文教大学附属小学校同窓会

62年の時を超えて…

昭和26年4月に立正学園小学校として産声をあげた現在の文教大学附属小学校の卒業生で構成する同窓会です。昨年50年ぶりに新校舎が完成し、2クラス制導入と一気に変革していく母校を全力でサポートする仲間達です。

会員数：2,112名

活動内容：運営委員会、同窓会報の発刊、隔年の総会・同窓会フェスティバルの開催、OBによる講演会、バザー、運動会への参加等。

問合せ先：〒145-0065大田区東雪谷2-3-12 Tel：03-3720-0792 E-mail：besrc_2008@yahoo.co.jp

日々着々と進化していく文教大学学園のホットなトピックスをお届けします！

文教大学 越谷の伝統工芸品！荻野ダルマ製作所とコラボで「文教だるま」ができました！

昨年度のオープンキャンパスにて、荻野ダルマ製作所(越谷市北越谷)とコラボ制作した「文教だるま」が発売されました。手のひらサイズの大だるまは600円、ミニだるまは300円で販売されており、色はそれぞれ赤・ピンク・青・白・金の5色あります。大だるまはお腹に「合格」、背中には「文教大学」の文字が書かれている文教大学オリジナルだるまとなっています。文教だるまは今後、各校舎の購買部で購入できますので、来学した際にはぜひご覧ください。



文教大学 情報学部酒井ゼミが茅ヶ崎市と共同で財政情報紙制作

平成26年4月16日(水)、茅ヶ崎市役所において、文教大学情報学部酒井ゼミの4年生12名が、市役所財政課と共同で制作した財政情報紙「サザン戦隊チガレンジャーと見るちがさき春夏秋冬」の紙面発表会を行いました。情報紙の主な内容は、茅ヶ崎市に引っ越してきた「しろうくん」とサザン戦隊チガレンジャーとの掛け合いにより、茅ヶ崎市の財政に関する基礎的な用語を季節のイベントに絡めて解説していくものです。こちらの情報紙は茅ヶ崎市のホームページで公開されています。
<http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/zaisei/7145/22975/038178.html>

文教大学 小学校／中学校教員採用者数私立大学全国第1位！

平成26年4月15日発売「大学ランキング2015」(朝日新聞出版)によると、教員採用者数(2013年大学通信調べ→2012年度実績)は以下の通りでした。

小学校 私立大学 教員採用者数 **7年連続 全国第1位**

順位	大学名	採用人数
1	北海道教育大学	302人
2	大阪教育大学	300人
3	愛知教育大学	283人
4	文教大学	256人
5	岐阜聖徳学園大学	223人
6	東京学芸大学	215人
7	上越教育大学	149人
8	千葉大学	144人
9	福岡教育大学	143人
10	岡山大学	138人

中学校 私立大学 教員採用者数 **全国第1位**

順位	大学名	採用人数
1	北海道教育大学	166人
2	愛知教育大学	165人
3	文教大学	137人
	日本大学	137人
5	大阪教育大学	119人
6	福岡教育大学	100人
7	東海大学	98人
8	東京学芸大学	79人
9	千葉大学	74人
	広島大学	74人

各校舎建て替え中

旗の台校舎(附属中学・高等学校、付属幼稚園)



正門



講堂



教室(西棟)



西棟

石川台校舎(附属小学校)



家庭科室



教室



プール



講堂



理科室

文教大学 「100円朝食」実施!!

平成26年4月～5月にかけて、文教大学越谷・湘南の両校舎学生食堂において学生限定の「100円朝食」を試行的に提供しました。1日50食限定でしたが、売り切れも出るなど好評でした。秋以降の実施は現在検討中です。



文教大学 越谷校舎 吹奏楽部が第61回全日本吹奏楽コンクールで14回目の金賞受賞!

文教大学越谷校舎の吹奏楽部が平成25年10月19日(土)、福岡市で開催された「第61回全日本吹奏楽コンクール」大学の部で、金賞を受賞しました。今回で全国大会21回目の出場で、14回目の金賞受賞となります。

編集後記

これまで、各校同窓会の会報はごさいましたが、学園から卒業生や退職された教職員の方に向けた広報誌はありませんでした。ようやく創刊できた「あやなり」でまた来年もお会いしたく存じます。(浜田)
 卒業生向け学園広報誌「あやなり」を発行することができまして、大変嬉しく思っております。卒業生の方が集まった際に「あやなり」という言葉が出るくらい、皆様に浸透する広報誌になりますよう、今後も気合を入れて制作をしていきたいと思っております。(西村)
 ※「文教人」の卒業生数は、本学園創立から2014年3月までの、各校の卒業生数を集計したものです。複数校を卒業している方の「名寄せ」は行っていません。また、中学・高等学校については、高校卒業時点でカウントしています。

あやなり 文教大学学園卒業生向け広報誌
 2014.7.31 創刊号
 発行:文教大学学園
 編集:経営企画局校友会室
 制作:文化工房
 〒142-0064 東京都品川区旗の台3-2-17
 TEL:03(3783)5511(代)
 FAX:03(3783)6109
 E-mail:alumni@stf.bunkyo.ac.jp